



## 2021年度の定期総会から 会員と共に府民に役立つ団体創り!!

一般社団法人 大阪府作業療法士会  
会長 関本 充史



去る6月5日、2021年度大阪府作業療法士会総会が、Webにて無事に開催されました。コロナ対策に追われた一年で、総会を無事に迎えられるかと思っておりましたが、会員の皆さまのお陰で無事に終えたこと感謝致します。2021年度は既に動き出しておりますが、コロナワクチン接種の進捗、感染状況に合わせて士会運営も変更していくこととなりますので、ご理解・ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

総会では、代議員より質問として、1) 入会金が前年度比▲145,000円、未回収年会費前年度比130,000円増について、2) 新卒者入会への施策について、提案として①会計システムのオンライン化、②大阪府作業療法学会における演題発表者のライブ配信、③演題登録の際、抄録作成のサポート体制、④入会手続きのオンライン化、⑤ブロック活動を通じて士会活動へ興味を持ってもらう活動、⑥研修会時の受講料入金方法、意見としてはブロック・士会員におけるZOOM活用の対応の遅さ、などがありました。

入会者や年会費回収の減少に関しては、研修会での声かけや受講申し込みの際の年会費確認が、ZOOM開催や参加費無料としたためそのような機会がなかったのが要因と考えられます。今年度は、感染対策をしながら会員増に向けて、対策を行っていききたいと思います。具体的には、研修会は無料ですが、会員・年会費納入確認を行なっていく、未入会者へは入会案内も行なっていくと考えております。また、新卒者に対しては、教育フォーラムや臨床実習指導者講習会を通じて養成校教員との連携機会が増えてきておりますので、職能団体の必要性について配信する機会や案内資料を共有できるよう努めていきます。入会手続きや会計システムに関するオンデマンド化は、ホームページ改編や会計処理システムと連動するため、

事務業務整備と共に進めていければと考えております。また、士会活動に関して興味を持って頂くことに関しては、ブロックや各市町村単位でつながるOTさん同士でやってみたいことや、こんなことなら出来るかもしれないをつなげていって頂きたいと思います。それが、モデル的になり大阪府内に広がり、全国に広がって大阪から新たな作業療法を発信することにつながります。会員の皆さん、ひとりひとりの知恵とお力添えをお願いします。

やることは沢山ありますが、大阪から世界に発信できるよう作業療法を研鑽し、未来へ役立つ学問として深化し発展していきたいと再確認した1日でもありました。事業計画は道しるべではありますが、計画立案した段階から風化が始まるものです。計画を進めると共に、その時その時の世間の流れを見ながら変化・対応していけるよう臨みます。これを成し遂げるためには、約2,500名会員ひとりひとりの力が必要ですので、どうぞお力添えよろしくお願い致します。

